

氏名	岩 田 寿 美 代
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3806号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Cervical Carcinoma with Full-thickness Stromal Invasion: Efficacy of Dynamic MR Imaging in the Assessment of Parametrial Involvement (Full-thickness stromal invasionの子宮頸癌:傍組織浸潤の評価 におけるdynamic MRIの有用性)
論文審査委員	教授 公文 裕巳 教授 岡田 茂 教授 西崎 和則

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

術前にMRIを施行した100例の浸潤性子宮頸癌患者の内、子宮頸部短軸方向のT2強調像で腫瘍が辺縁まで及んで頸部間質の低信号が消失していても辺縁が平滑なfull-thickness stromal invasion(以下FSI)を呈した30例中24例にdynamic MRIを施行し、傍組織浸潤の評価におけるdynamic MRIの有用性を検討した。

子宮頸癌のdynamic MRIは造影早期と造影後期に描出される腫瘍の信号強度と形態により、type I~IIIに分類し、さらにtype IIに関しては腫瘍辺縁に出現する高信号rimの有無によりtype II-OR(後期相のみ高信号rimが認められるもの)とtype II-O(高信号rimが認められないもの)に分類した。

Type Iとtype II-ORはすべて傍組織浸潤はなくtype IIIと腫瘍の横径3.5cm以上のtype II-Oを傍組織浸潤ありと判定すると正診率は95.8%で子宮頸部短軸方向のT2強調像による正診率83.3%を上回った。dynamic MRIはFSIを呈する子宮頸癌の傍組織浸潤の評価に実質的に有用と思われる。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、Full-thickness stromal invasion (FSI)の子宮頸癌の傍組織浸潤評価におけるDynamic MRIの有用性について検証したものである。MRIの造影所見をtype分類し、腫瘍の横径と組み合わせて判定することで、95.8%の高い正診率が得られることを明らかにした価値ある業績と判断される。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。